

# 三木町だより 増刊号



## <三味線餅つき>

1月2日に、四国霊場第87番札所の長尾寺で行われた「三味線餅つき」を見に行ってきました。薪で焚いた火で蒸された餅米を、石臼と杵でつきあげていきます。4人一組で一つの臼を囲み、3人が杵をつき、1人が合いの手を絶妙なタイミングで入れ、リズム良くつきあげていきます。威勢のいい掛け声と、お寺の境内から流れてくる三味線の音が一層盛り上げます。ぺったんぺったんという音が聞こえてきて、とっても美味しそうです。この日につきあげられる餅はなんと100臼分！このお餅は総重量が約90キロにもなる大鏡餅になり、7日に行われる「大鏡力餅運搬競技」（台座にのった大鏡餅を背負って歩いた距離を競う100年続く伝統行事。今年は総重量193キロだったそうです！）で使われます。

